

取組1 ゆたかな農業の振興

取組の評価 3.1 概ね順調

< 取組1の基本方針 >

- 1 担い手の育成
- 2 利用集積の推進
- 3 農産物の高付加価値化
- 4 地産地消の推進
- 5 農地の有効活用
- 6 農資源のさらなる有効活用

【取組の目的】 消費者のニーズに応える付加価値の高い農産物を供給し、安定的かつ効率的な農業経営を確立します。

『取組』に係る社会の動向と本市の現状

1 社会の動向

- ◎ 国は貿易自由化による国益の増進を目的に、環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加を平成25年3月に表明し、参加国とのルールづくりの協議に加わる事となったが、関税が撤廃された場合の農林水産物への影響や、食料自給率の低下に繋がるのではないかと懸念があり、農業分野の国際競争力の強化が急務となっている。また、農業関連団体からは、TPP交渉参加に反対する意見や、コメ・麦をはじめ牛肉・乳製品・砂糖などを関税撤廃の例外とするよう強く求める意見が出されている。
- ◎ わが国の農業は、耕作面積・農業就業人口、農業総産出額ともに減少しており、さらに農業就業人口に占める65歳以上の割合は6割、75歳以上の割合は3割と高齢化が進み、弱体化が進んでいる。また、農業は、食料供給としての役割のほかに、国土の保全、水源のかん養、良好な景観の形成など多面的な機能も有しているが、近年は、農村を中心に高齢化、混在化が進み、耕作放棄地も増え続けることで、農業・集落機能も低下している。
- ◎ 農林漁業が成長産業となるよう国も様々な施策を進めており、農業分野へのICT導入による生産性向上や、農林漁業者が主体となって新たな事業分野を開拓する事業活動等に対し、農林漁業成長産業化ファンドを通じて出融資や経営支援を実施する株式会社農林漁業成長産業化支援機構を設立するなど、強い農業への変革を促進する取り組みを進めている。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ 本市の3大基幹作物である、温室メロン、茶、米の生産額は年々減少傾向にあることから、収益性の高い農業への転換を図るべく、ブランド力の強化及び販路拡大に向け、袋井のブランド米「ふくのいち」の品種登録及び販売開始に向けた取り組みを進めるとともに、「ふくろい宣伝隊」による県内外へのPR活動を継続的に実施している。また、6次産業化の推進を図るため、セミナーの開催や補助金支援による農産物の高付加価値化を推進している。
- ◎ 平成25年9月の中部学校給食センター開設を機に、学校給食において地場産野菜の利用を増やし地産地消を推進するため、学校給食関係者等で構成する「袋井市学校給食地産地消連絡会」を設置し、市内産野菜の生産拡大と利用拡大の取り組みを進めている。平成25年度は、農業者との間で食材需給調整を行う地産地消コーディネーターを設置し、安定的な供給システムの構築を行う。
- ◎ 農地の有効活用を図る取り組みとして、耕作放棄地を市民の力で開拓・復元し、次代に繋げていく袋井フロンティア農園プロジェクトを実施するとともに、担い手の育成として、企業の農業参入の促進を図っている。また、新規就農者の育成として「はじめよう農業応援事業」を行っている。

『取組指標』の分析と評価結果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】 評価結果の平均値(A) 2.3

<評価基準> 4:達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 3:達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0% 2:達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 1:達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0%

| 番号 | 指標名                        | 項目      | 現状値(計画) | H22         | H23        | H24        | H25   | H26   | H27   |
|----|----------------------------|---------|---------|-------------|------------|------------|-------|-------|-------|
| 1  | 農業産出額【億円】                  | 目標値     | -       | 114.2       | 114.4      | 114.6      | 114.8 | 115.0 | 115.0 |
|    |                            | 実績値     | 114.0   | 99.7        | 99.2       | 102.5      |       |       |       |
|    |                            | 達成率 伸び率 | - -     | 87.3 ▲ 12.5 | 86.7 ▲ 0.5 | 89.4 3.3   |       |       |       |
|    |                            | 評価      | -       | 1           | 1          | 2          |       |       |       |
| 2  | 認定農業者数(経営体含む)【経営体】         | 目標値     | -       | 245         | 245        | 251        | 257   | 262   | 268   |
|    |                            | 実績値     | 237     | 240         | 233        | 215        |       |       |       |
|    |                            | 達成率 伸び率 | - -     | 97.9 1.2    | 95.1 ▲ 2.9 | 85.6 ▲ 7.7 |       |       |       |
|    |                            | 評価      | -       | 2           | 1          | 1          |       |       |       |
| 3  | 地場産の農産物(米以外)を使用した学校給食日数【日】 | 目標値     | -       | 84          | 84         | 84         | 84    | 84    | 84    |
|    |                            | 実績値     | 60      | 54          | 69         | 77         |       |       |       |
|    |                            | 達成率 伸び率 | - -     | 64.2 ▲ 10.0 | 82.1 27.7  | 91.6 11.5  |       |       |       |
|    |                            | 評価      | -       | 1           | 2          | 2          |       |       |       |
| 4  | 農地流動化面積【ha】                | 目標値     | -       | 899         | 899        | 903        | 907   | 910   | 918   |
|    |                            | 実績値     | 862     | 891         | 867        | 926        |       |       |       |
|    |                            | 達成率 伸び率 | - -     | 99.1 3.3    | 96.4 ▲ 2.6 | 102.5 6.8  |       |       |       |
|    |                            | 評価      | -       | 2           | 1          | 4          |       |       |       |

【指標に影響を与えた主な要因】

- ◎ 認定農業者数：原油の高騰や高齢化による経営規模縮小などの影響で、5年更新の時期を機に辞退する農業者数が新規認定者数を上回ったため減少した。
- ◎ 地場産の農産物を使用した学校給食日数：地元農業者に給食用の作物栽培を依頼したことや、納入業者に市内産農作物の優先納入を呼びかけたことで増加した。

2 指標で表すことが困難な成果

- ◎ フロンティア農園プロジェクトの取り組みは、市民や地域住民・企業と行政のパートナーシップにより、耕作放棄地の再生、作付け、収穫等を行うもので、これらの体験を通じて農への理解が深まるなど、後世に優良な農地と農の文化を継承していく第一歩となった。
- ◎ 「農地・水・環境保全向上対策事業」の取り組みは、土壌や生物多様性の保全、水源かん養、景観形成など、豊かな自然環境の保全向上に寄与している。

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

1 主要事業の評価

| 番号          | 主要事業名                    | H24<br>事業費<br>【千円】 | 事業評価表の評価結果 |     |       |
|-------------|--------------------------|--------------------|------------|-----|-------|
|             |                          |                    | 有効性        | 効率性 | 廃止の影響 |
| 1           | 環境保全型農業直接支援対策事業          | 515                | 3          | 3   | 3     |
| 2           | 「ふくろいブランド」米開発販売促進事業      | 313                | 4          | 3   | 3     |
| 3           | 茶品評会出品対策事業費補助事業          | 1,800              | 4          | 2   | 4     |
| 4           | 袋井市農業振興会補助事業             | 2,700              | 3          | 3   | 3     |
| 5           | クラウンメロン振興協議会補助金          | 1,400              | 3          | 3   | 3     |
| 6           | 農業経営基盤強化資金利子助成金          | 2,091              | 3          | 3   | 3     |
| 7           | 農地・水保全管理支払交付金事業          | 24,218             | 3          | 3   | 3     |
| 8           | 農業近代化資金利子補給金             | 190                | 3          | 3   | 3     |
| 9           | 袋井茶振興協議会補助事業             | 2,100              | 4          | 4   | 4     |
| 10          | 農業振興推進事業費補助金             | 2,101              | 3          | 3   | 3     |
| 11          | ふくろい特産品宣伝隊支援事業           | 1,181              | 3          | 3   | 4     |
| 12          | 地場産品消費推進事業(手づくりみそ講座)     | 182                | 4          | 4   | 4     |
| 13          | 6次産業化促進支援事業              | 946                | 3          | 3   | 4     |
| 14          | はじめよう農業応援事業              | 282                | 3          | 3   | 3     |
| 15          | 袋井市鳥獣被害防止総合対策事業          | 659                | 4          | 4   | 4     |
| 16          | 農業者戸別所得補償制度推進事業          | 1,799              | 4          | 3   | 4     |
| 17          | 畜産振興対策事業(袋井市受胎卵移植協議会補助金) | 500                | 4          | 4   | 4     |
| 18          | 農業委員会事業                  | 15,207             | 4          | 4   | 4     |
| 19          | 耕作放棄地対策事業                | 3,155              | 3          | 3   | 3     |
| 20          | 市民農園運営事業(市営)             | 250                | 4          | 4   | 4     |
| 21          | 袋井フロンティア農園プロジェクト         | 858                | 3          | 3   | 2     |
| 22          | 県営農山漁村活性化プロジェクト支援事業      | 1,633              | 3          | 3   | 3     |
| 23          | 出産・結婚祝品贈呈事務              | 2,552              | 3          | 2   | 4     |
| 24          |                          |                    |            |     |       |
| 25          |                          |                    |            |     |       |
| 評価結果の平均値(B) |                          | 3.3                | 3.4        | 3.2 | 3.4   |

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値 (C) 3.7

| 番号 | 評価項目  | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | コメント欄  |
|----|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| 1  | 有効性<br>4. 想定どおりの成果<br>3. 概ね想定どおりの成果<br>2. 一定の成果<br>1. 想定した成果なし  | 3   | 3   | 3   |     |     |     | ◎ ブランド力の強化及び販路拡大の取り組みとして、ブランド米の生産・販売に向けた取り組みに加え、ふくろい宣伝隊などの活動による市内農産物の県内外への販路開拓を進めており、一定の成果がでている。<br>◎ フロンティア農園プロジェクトや耕作放棄地対策事業など、本地域の地域資源である農地を有効に活用していく取り組みが、次代を担う子ども達へ良好な農地を継承する活動であり、かつ市民とのパートナーシップのモデル的な取り組みとなっている。          |
| 2  | 必要性<br>4. 極めて高まっている<br>3. 高まっている<br>2. 一定程度高まっている<br>1. 高まっていない | 4   | 4   | 4   |     |     |     | ◎ 環太平洋連携協定 (TPP) への交渉参加により、農業分野においても国際競争が避けられない状況となることから、強い農業の育成が欠かせない。6次産業化や集約型農業の推進による生産性向上と企業による農業参入を積極的に推進する必要がある。<br>◎ 地産地消の取り組みを進めることで、食育推進や地域の自然や文化への理解・関心を高める効果が期待でき、市内農業者の経営の安定にも繋がることから、地域農産物を地域で食すことの取り組みの重要性は高まっている。 |
| 3  | 緊急性<br>4. 極めて高まっている<br>3. 高まっている<br>2. 一定程度高まっている<br>1. 高まっていない | 4   | 4   | 4   |     |     |     | ◎ 環太平洋連携協定 (TPP) の交渉参加により、農業の自由貿易化までの時間は限られている。強い農業への育成が急務であり、生産性向上と法人化等を早急に進める必要がある。<br>◎ 農業者の高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加が年々深刻化しており、人・農地プランに基づき意欲と能力のある担い手への農地の利用集積を進める必要がある。  |

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <評価基準> 4～3.6:順調 3.5～3:概ね順調 2.9～2:一部に改善を要する 1.9～1:全体的に改善を要する

| 取組の評価         |               |               | コメント欄  |
|---------------|---------------|---------------|--|
| 3.1           | 概ね順調          |               | ◎ 農業者の高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加が年々深刻化していることから、経営体等への農地集積を計画的に実施し、強い農業の育成に向け、多様な担い手の参画と連携を促進し、行政とJA、関係機関が協力して本市の農業を支えていく必要がある。 |
| 各評価結果の平均値     |               |               | ◎ 農業経営を安定させるために、農産物の高付加価値化とともに、販路拡大を進める必要がある。現在、取り組みを進めている6次産業化の推進とふくろい宣伝隊等による活動は、戦略展開の足がかりとなっており、今後さらなる差別化への取り組みが期待できる。 |
| 取組指標の評価結果 (A) | 主要事業の評価結果 (B) | 有効性等の評価結果 (C) | ◎ 学校給食での地産地消の取り組みを進めることは、市内農業者の経営の安定にも繋がることから、地産地消コーディネーターを中心に安定的な供給システムの構築を進めることで、さらなる農産物の生産拡大へと繋がることが期待される。            |
| 2.3           | 3.3           | 3.7           |  |

2 取組の基本方針別 今後の展開方向 <展開方向> 拡充(順調) 拡充(改善必要) 継続推進 縮小

| 番号 | 取組の基本方針      | H22  | H23  | H24  | H25 | H26 | H27 | 今後の展開方向   |
|----|--------------|------|------|------|-----|-----|-----|---|
| 1  | 担い手の育成       | 継続推進 | 継続推進 | 拡充   |     |     |     | 認定農業者の法人化や企業の農業参入を進め、強い担い手農業者の育成に取り組むとともに、新規就農希望者が参入しやすい環境づくりとして、農業経営学も含めた指導・相談を受けれる体制を充実させる。   |
| 2  | 利用集積の推進      | 継続推進 | 継続推進 | 継続推進 |     |     |     | 農地の流動化を促進し、意欲と能力のある農家への農地の利用集積を推進するため、袋井市農業委員会やJA遠州中央等の関係機関と一体で、認定農業者及び大規模農業を営むビジネス経営体への利用集積を促進する。  |
| 3  | 農産物の高付加価値化   | 拡充   | 拡充   | 拡充   |     |     |     | 袋井商工会議所の農業産業部会とも連携した6次産業化の取り組みを進め、自由貿易化を見据えた高付加価値農産物の生産を支援する。また、他地域との差別化を図るため、新品種の導入による高品質化及びブランド化の促進やICTの活用などを強化する。                                    |
| 4  | 地産地消の推進      | 継続推進 | 拡充   | 拡充   |     |     |     | 学校給食における地場産品の利用率を高めるため、地産地消コーディネーターの設置による安定的な供給体制を確立し、市内農産物の生産拡大に繋げる。また、地域内消費の拡大を図るため、市内の農産物直売所や飲食店の活性化、地場農産物を材料とする加工品づくり開発及び普及への支援を行う。                 |
| 5  | 農地の有効活用      | 継続推進 | 継続推進 | 継続推進 |     |     |     | 農作業条件の向上や農家の経営規模拡大のサポートに繋がるよう、用排水改良等の土地改良事業や既存農道の適切な維持・管理を実施する。また、農地の持つ優れた公益機能(生物多様性の保全・水源かん養・景観形成等)を守るため、袋井フロンティア農園プロジェクトなどの活動を通して、地域が一体となった取り組みを推進する。 |
| 6  | 農資源のさらなる有効活用 | 拡充   | 拡充   | 継続推進 |     |     |     | 行政経営方針に位置づけられた「農を活かしたまちづくりの推進」に基づき、農との関わりによる健康増進や福祉、教育、コミュニティの充実など、市民生活の質の向上を高める取り組みを継続的に展開する。  |

【その他留意事項】